

2. 指標設定

成果指標	指標名	林道整備		目標年度	指標の設定理由				
	数値	-			H27	総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-2)目標達成のために重要な施策となっている			
活動指標	指標	a	県営等林道整備事業	b		c		d	
	数値	目標	32.115億円	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
林道整備		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 県営等林道整備事業	億円	32.14 億円	-	-
		100.1 %	-	-
b		-	-	-
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
総合計画で計画している林道の舗装整備は終了した。しかし、法面保護工が必要な路線があるため早期に着手したい。
対応（改善点等）
国・県の補助事業による法面保護工事。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

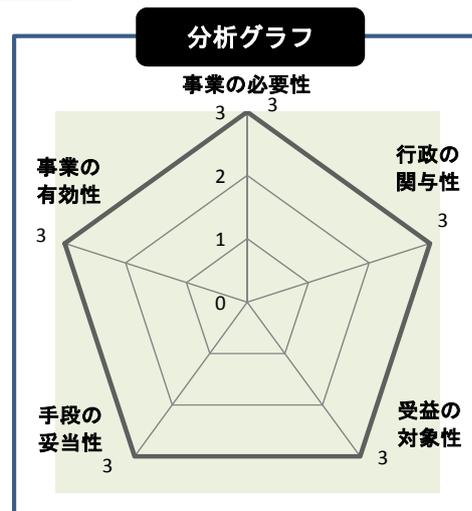
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		18,027	9,800	9,621	9,565
うち経常経費		9,449	9,800	438	494
財源内訳	国費				
	県費	1,009			
	市債				
	その他				
	一般財源	17,018	9,800	9,621	9,565
うち経常		9,449	9,800	438	494
事業費に係る人件費		1,720	859	872	887
事業費に係る人役		0.40	0.20	0.20	0.20

6. H27年度予算の方向性

方向性
増額
理由
林道維持管理事業との事業統合のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 林業生産基盤の整備は、椎茸生産量、品質日本一の大分県特に本市にとって必要な事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 広域的に整備される林道は、市が事業主体である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 整備された林道は、林業者だけでなく多くの通行者が使用するため公共性が高い道路である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 受益者が事業内容を理解し、地域全体の同意があつて事業実施となるため、複数回の説明会が必要となる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 林産物の安定した搬入が可能となり経営基盤の強化が図られると判断する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	林道維持管理事業と統合し、林道整備を図ること。